



2022年5月11日

各位

会社名 株式会社キューブシステム
代表者名 代表取締役 社長執行役員 中西 雅洋
(コード番号 2335 東証プライム)
問合せ先 上席執行役員社長室長 北垣 浩史
(TEL. 03-5487-6030)

中期経営計画の財務目標修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年5月11日に公表しましたV2026 第1次中期経営計画に関して、連結財務目標数値を見直し、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。なお、中期経営計画における成長戦略や施策の骨子などについては変更していません。

記

1. 修正の内容

中期経営計画における連結財務目標のうち2022年度および2023年度の財務目標を修正しております。

	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画
売上高	16,099	17,300	19,000
デジタルビジネス	350	780	1,000
SIビジネス	4,645	5,140	5,700
エンハンスビジネス	11,103	11,380	12,300
売上高CAGR (2020-2023)			8.7%
営業利益	1,417	1,530	1,710
営業利益率	8.8%	8.8%	9.0%
ROE	13.8%	13%以上	

(参考) 当初 (2021年5月11日公表時) の目標値

	2021年度 計画	2022年度 計画	2023年度 計画
売上高	16,000	17,200	18,500
デジタルビジネス	320	400	500
SIビジネス	4,130	4,500	5,000
エンハンスビジネス	11,550	12,300	13,000
売上高CAGR (2020-2023)			7.8%
営業利益	1,230	1,340	1,480
営業利益率	7.7%	7.9%	8.0%
ROE		13%以上	

2. 修正の理由

企業の情報化投資においては、デジタル庁設立にも後押しされ、企業規模に関わらず DX を中心とした需要が継続的に伸びており、IT 投資が更に拡大する傾向にあります。その結果、当社の属する情報サービス産業では、営業・販売活動のデジタル化への取り組みや、それらを支援する新たなネットワークサービスの開発などに加え、AI・IoT 技術を活用したシステムインテグレーションおよび管理運営受託が堅調に推移しております。

このような受注環境や今後の AI 投資の動向などを踏まえ、当社グループでは引き続き DX 人材の育成に努めるとともに人的リソースの再配置等を進めることによって 2023 年 3 月期以降においても中期経営計画策定時の売上高、営業利益を上回る見通しであり上記のとおり修正するものです。

以 上